

皆様から寄せられた提案

EXPO2005は、「参加型の博覧会」を目指しており、皆様から寄せられたアイデアを、1つでも多く企画に反映していきたいと考えております。

ここでは、市民の方々、民間企業の方々等から寄せられた、展示・催事に係わるアイデアをご紹介します。「自然体験」「教育」「まちづくり」等、様々なアイデアが寄せられております。

マークの説明

当協会で、担当しているグループ毎に分類し、マークで分かりやすく表示しました。

企画調整	博覧会のテーマ展開を企画立案しているグループに寄せられた提案。	
会場計画	会場計画を策定しているグループに寄せられた提案。	
環境	環境関連の企画立案を行っているグループに寄せられた提案。	
市民参加	市民参加の窓口を担当しているグループに寄せられた提案。	

森林鉄道



燃料電池で動く鉄道が森の中の水平回廊部を森林浴気分で快走。



ケーブルキャブ



ケーブル駆動で走るため、急な坂道も楽々。会場全体を見渡せる山頂からの眺望を満喫させ、主会場間を結ぶ。



ミストシャワーのリクライニングデッキ



会場内に疲れを癒す、竹製のリクライニングデッキを用意する。

森林浴をしながら、体にいいミストシャワーを浴びて森林の気持ちよさを満喫。



音を利用したアイデア



バーチャルサウンドフォレスト

仮定の森の鳥のさえずり、「あっ、あそこ!」「あっ、ここにも!」..様々な森の動物が音と映像でよりリアルに体感することができる。

声のきずな

たとえ、森の中ではぐれてしまっても、いつもどこからか声が聞こえてくるので安心。家族の場所、友達の場所を簡単に探し出すことができる。

サウンドプラスアミューズメント

音だけを頼りにした森の中での宝探しにチャレンジ。



マルチメディアEXPO体験



電気通信テクノロジーを利用した体験コーナー。

環境対策EXPO

環境破壊の現状と自然との共生を体感するコーナー

グローバルEXPO

世界各国の大自然と、そこで生活している人々・動物等が繰り広げるドラマを体験

アドベンチャーEXPO

恐竜の世界等、有史以前の地球を体験
宇宙空間の体験
電気、メタン、水素ガスによるF1カーの試乗

体験型アトラクション(動物)



動物を育てるシュミレーションゲーム

実際にはできない野生動物との競争

バーチャルリアリティ

「トリの目・ネズミの目」



近代絶滅動物園



近代に入り、加速度的に絶滅していった動物等を最先端技術を駆使して再現し、感動と懺悔を呼び起こす仮想動物園。

「人類自身」がその対象にならないために。

海上の森を活用した野外仮想絶滅動物園

デジタル映像と空間を駆使した屋内型絶滅動物園

絶滅のストーリーと最後の場所・時の解説システム 等

自然と技術の融合



テクノロジー&サイエンス工房

自然界の職人達
(動物・昆虫の観察、研究。疑似体験)

アナザー・ビュー・シアター

(他の動物の目線から見たシアター)

ナッシング・ザ・ワールド

(エネルギー、水道が無い生活体験)

テーマパーク型エコスクール

モバイルPASSを利用した会場状況把握、アトラクション体験等

サイバーエキスポ

(ネット上でEXPO2005疑似体験)

24時間体験宿泊施設



参加型の体験宿泊施設をつくり、様々なプログラムを開催する。

(プログラム例)

「森」の静けさを味わうツアー

「1日環境博士」

宿泊型ワークショップの開催

(海外の学生と日本の学生の交流会)

「環境共生市民への変身」

未来型ライフスタイルの家族向け体験プラン

エコチャレンジ



ソーラーカーレースやロボットコンテスト等、省エネをテーマとしたコンテスト・イベントを開催。

主婦の智慧を生かした、家庭内エコロジーアイデアも募集。



ゼロエミッションの見せ方



EXPO会場を「最適環境特区」として位置づけ、会期中及びその前後で実験・交流の場として提供する。

EXPO2005ルールの制定

ゼロエミッションシステムの導入

継続的な技術開発の支援と新技術の評価、実験

EXPOの会場でゼロエミッションを見て、ふれて、感じられる「未来を予感できる体験ゾーン」として提供する。

近未来を体験・予感できる展示場の提案

(エデュテイメントパーク)

インフラのアート化、魅せるインフラの提案 21世紀型ボンビドーセンター)

参加型のストリートファニチャーづくりの提案 (RDFシアター&ストリートファニチャー)

水車によるマイクロ発電

インクラインシステムによる浮上輸送

無動力噴水

処理水による歩道の冷却、修景、親水

すべての入場者を循環都市への訪問者と定義し、毎日のマテリアルバランスを世界に発信

都市づくり及びその維持に関して起こった問題は、循環型社会の不可避の考慮すべき問題として定義し、会期中に集中的に議論

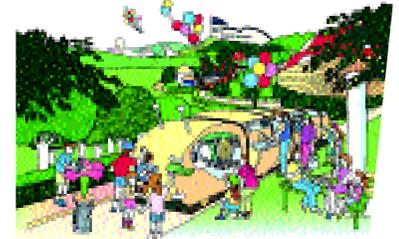
ゼロインパクトエネルギーシステムの提案

燃料電池 溶融炭酸塩型

RDF化によるリサイクルシステム

消化ガス活用の燃料電池

ビオトープの整備等



環境ユニバーシティ2005



目的

環境問題に対する人々の理解、認識、意志の形成を飛躍的に増大させ、未来を展望することができるよう支援する。

カリキュラム

基礎科学(地球のデータ)思想と倫理(人文学的)科学技術と処方箋(自然・応用科学的)経済・法・制度(社会科学的)変化への戦略(応用・学際的)未来人の育成(教育・情報科学的)

所在地

独自のキャンパスは持たず、博覧会会場内の施設や周辺のホール、会議室、大学の講堂等を借用する。

宗教と音楽の祝祭



芸術の出発点となる宗教芸術を祝祭として取り上げ、聴覚と視覚、先端と伝統、正統と異端、クラシックとエスニックを対等に扱い両立させる。

宗教儀礼としての音楽

クラシックの声、エスニックの声

癒しのワークショップ

自然環境の有効活用と先端技術の援用
世界の宇宙論紹介と宇宙から見た地球

気象/気候の「12の森」展開



1. 美の森 「虹・雷・オーロラ～自然界の芸術を科学する」
自然の芸術作品展
「虹のアート工房」

2. 共創の森 「人と自然の共創～俳句にみる気象」
絵とデータでみる季語の世界展
俳句創作コーナーによる参加型プログラム
俳句自動翻訳ソフトのデモ

3. 大地の記憶の森 「天変地異の痕跡展～気象変化は地球をどう変えてきたか」
天変地異の実感コーナー
天変地異の痕跡を示す遺跡や写真等の展示
災害防止展示コーナー

4. 生命の森 「地球生命誕生と気象条件」
「生命の姿の歴史展」
シミュレーションアースの2105数
万種類の「100年後の地球の姿」を

創り出すことのできるソフトを稼働させ、来場者に参加してもらい100年後の地球をデザインする

5. 学びと遊びの森 「気象とスポーツとのちょっと知的な関係を見る」
「スポーツ気象学フォーラム」の開催
「雪と遊べるパビリオン」
「人工波de新スポーツ」

6. 聖なるものの森 「妖怪と共生できる未来～気象現象から見た妖怪」
「気象現象から見た妖怪」の解説展示
「狐火」「かまいたち」「海坊主」など
「ひとだまの」のデモコーナーも設置

7. 廃墟の森 「地球全体が砂漠化したら？」
「砂漠でサバイバルシミュレーションゲーム」
「砂漠化時代のライフスタイル展」
「ラクダに乗ろう」コーナー

8. 共鳴の森 「春夏秋冬・風のメロディ」
12の風のコンサート会場
「音で体験する気象」展示&クイズコーナー

9. 情報の森 「風と雲の名前から、世界の気象条件を知ろう」
「風と雲の名前から国際交流」イベント&展示会
風と雲を言い表す世界各地の言語・方言を収集し、世界の言語と神話・習俗に接すると共に、自然と接する感受性を理解しあえる場とする

10. 宇宙の森 「<気象衛星ひまわり>のつばやき～JWAオゾン層観測史」
地球観測プラネタリウム～<ひまわり>の視点から地球を見よう
目で見る世界の気象展 動く天気図の大形画面表示

等

来場者を巻き込む仕掛け



エコバリュー・カード

すべての来場者に、「エコ・バリュー・カード」を無料で配布。各パビリオンを訪問し、その提案するライフスタイルや活動を体験することによって、各パビリオンごとの「エコ・バリュー」がためられ、カードに表示されるようになっていく。

獲得したエコ・バリューによって、博覧会でしか手に入らないノベルティグッズがもらえたり、パビリオンの優先入場など、特典が与えられる。

エコ・バリューオリエンタリング

基本的なしくみはエコ・バリューと同様。加えて、会場内のブースやショップに隠されている特典(エコ・バリューが2倍になる、特別なノベルティがもらえる、など)を来場者が探し出す。

スタンプ絵本

博覧会でしか手に入らないスタンプブック型の絵本を販売し、その絵本に必要なスタンプを集めてもらうスタンプラリー形式とする。

スタンプラリーによって出展者等が提案するゼロエミッションのライフスタイルを体験してもらうとともに、来場者を会場内の見せたい施設に導くことができる。



シアターワールド構想



アート・オブ・ライフの核として、また参加を促し、こころの交流を図る場として、世界の劇場の原型を再現。

その劇場を使った演劇を行ったり、国際的な舞台芸術の研究と人材育成、情報コンテンツの創造をめざす。

様々な芸能空間を再現した国際劇場史体験博物館

各種国際的舞台芸術の研究・人材育成機関の併設

アートマート(芸術見本市)の開催

EXPO2005開催までのプログラム



どんぐり入場券

6年先の万博入場チケットの代わりに、どんぐりを希望者に配布。開催時に苗木として持ってきた人の、入場券代わりとなる。木を育てることで自然の叡智を体験。

森のレンジャーガイド

EXPO2005開催前に、レンジャー養成学校を作り、2005年に卒業式を迎える。卒業後の初仕事が入場者の案内や森のガイド。開催後も森林教育のメッカとして存続させる。

60億の折り鶴運動



日本固有の文化である折り鶴に込められた願いを世界の人々に伝え、世界の人々一人一人が平和維持・飢餓開放、病氣回復等、人類共通の願いを一つにする運動を展開。

折り鶴の持つ意味と折り方の情報伝達の壮大実験

折鶴モニュメントの作成



万博ルールの提案



万博ルール

1. エコレストラン
料理を適量だけとって食べ残しをなくしたり、残飯追加料金制などごみを減らす工夫がいくつかのレストラン。
2. ペーパーレスメディア
携帯端末型の情報伝達ツールの使用で紙ごみ削減と同時に、迷子や混雑状況もお知らせ。
3. マイカップ
紙コップなどの使い捨て容器の使用を削減する為、自動販売機でも使用可能な瀬戸物のカップ。
4. デポジット制度
分別排出を促す、携帯端末に加点。加点に応じてペイバック。
5. 太陽電池の利用による自然エネルギーの利用

6. 大型ディスプレイによるリアルタイムの環境情報の伝達
7. エコカー励行
8. 廃棄物でできたモニュメントや遊具
9. 木陰を利用した会場づくり
10. 透水性の舗道と再生水を利用した散水：清涼効果



ゴミの発生抑制を促す「万博ルール」の提案

陶製シンボルモニュメント製作



1500日前のプレイベントとして、デザインコンペを実施。

入選作を約150個のパーツに分け、制作者を一般公募。

当選した制作者は、各地の土を使用し、各パーツを制作する。

開幕直前に会場を組み立てられ、会期後は記念碑として残す。



市民が創るエコパーク構想



1. 市民中心の文化活動を実践するステージ
エコシアター
(森の中に点在するミニ劇場)
エコセンター
(ギャラリー、多目的施設)
2. 森と人間が共生する空間
エコビレッジ(環境共生住宅等)
パーマカルチャー(持続農業)
環境適正技術のモデル施設
3. 自然素材によるアートを通して
自然と触れ合う芸術の森
自然素材を利用した環境彫刻作品を森の中で製作

EXPOをみんなの手で



各自がデザインしたタイルを使った会場の遊歩道づくり

マルチボランティアセンターの設立

市民が設計監理する公園

老人が土と親しみ、自然に親しむスペースがある老人ホーム

リサイクルが学べる散歩道

自然の恩恵を体で感じることを目的に、自然の中に身を置くだけの場を用意

EXPOミステリーツアー

(ネーチャーゲーム、ナイトハイク、泥遊び、川遊び)

愛の国・愛知県
輝きます・21世紀愛知国創り構想



博覧会会場を下記のとおりゾーニング。
友(福祉ゾーン)
~生命ホール、福祉工場、職業訓練所、
研修ゾーン、農場・放牧ゾーン
優(サーキュレーションゾーン)
~宿泊施設、健康センター、
アットハウス、診療所
遊(テーマパークゾーン)
~大宇宙テーマパーク
宇宙開発国際会議によるムード盛り上げ

オープン・エリア・
エクスポジション構想



瀬戸周辺の地域の全てで自然を表現。
海上の森
「さとやま」=「人の暮らしがあってはじめて
成立する自然」を展示の中心とし、人工構
造物は最小限にする。
陶土跡地
地球の環境を追いつめた人間活動を集中的
に展示。破壊のシンボルか？又は人間活動
の原点か？
瀬戸
「セラミック・パーク・シティ」土の暖かみと
保全された自然が豊かに調和した「人の生
きる街」。

「やきもの文化発信都市」に向けて



「やきもの瀬戸」を未来に伝えるためのまちづくり提案

中心市街地
街角工芸館
やきもの回廊
まちなか展示ろくろ
街角やきもの広場
瀬戸川
瀬戸川をやきもので飾る
万博会場など
滞在型やきもの体験施設
やきもの文化交流施設
やきものマイスター育成施設
世界やきもの資料館、屋外工芸館
自然とふれあう地域環境
先端技術開発施設
陶磁器情報発信施設

市民公園周辺など
地球共生窯業・工芸団地
市民が考える陶土採掘場の活用
環境再生技術の展示・実験場
交通アクセス
やきもの観光ネットワーク
省エネ・低公害の新交通
周辺森林地域
木立に囲まれた工芸家のアトリエ
陶芸、自然教育のフィールド

国営瀬戸海上の森里山公園



海上の森を、既にあるレジャーランドの
ような公園ではない、ありのままの自然の
姿や地域文化の特性を最大限に生かした里
山公園にする。
1日1000人程度に入場規制し、魅力ある
6つのエリアを配置する。
1. 里の生活の息吹を伝えるエリア
2. 雑木林の水と木と風を楽しむエリア
3. 貴重種に出会えるエリア
4. 人工林と見晴らしの良い高台のエリア
5. 鳥の声、水の音、そして静けさを
楽しむエリア
6. 歴史・文化・生活を今に生かすエリア

海上の里山を世界遺産に



海上の森の自然を守る「分散型万博」を提案。大きな展示施設などを森の外側に作り、
海上の森そのものをユネスコの世界遺産に指定。将来にわたって、人間と自然の共生を
テーマとした国際野外教室にすることが望ましい。

里山体験ゾーン
(海上の森)
里山自然コピーゾーン
(愛知県青少年公園、トヨタの森、笹島跡地)
未来を拓く環境技術ゾーン
(科学技術交流センター)
焼き物祭り、文化交流ゾーン
(愛知県陶磁資料館)
瀬戸陶土採掘跡地利用ゾーン

瀬戸市街地
環境重視型産業転換ゾーン
(トヨタ博物館)
芸術ゾーン
(愛知芸術文化センター)
国際環境会議ゾーン
(名古屋国際会議場)
藤前干潟



里山発信のイベント開催、
機関の設置



「世界の里山エリア」
市民参加で世界各国の里山づくりと民族文化
化イベント
「里山技術伝承センター」
燃料、生活文化、無駄なく使う技術をアジア
に伝承
「緑の研究センター」
CO2吸収など緑の機能を解明し、社会に
生かす研究機関
「環境教育センター」
子供達に環境教育を行う世界的な
指導者養成機関
「One Month Stay City」
万博の遺産を継承する学識者の
リゾート研究タウン

EXPO2005
展開と構想(自由意見)



こんな会場にしてほしい
熱田神宮をモデルに、聖なる森の中に寺
院や神社が点在する。
古代ギリシャ、ローマの「半屋外式円形劇
場」江戸時代の「名古屋城本丸御殿」を会
場のシンボルとして再現し、「石の文化」木
の文化」を示す。
世界各国のタイル、日本の和紙や繊維を
素材として、西洋と東洋の技術を融合さ
せたモニュメントを造る。

こんなことをやったらどうか
田んぼで稲作
キッズコミュニティ
(世界中の子供達を集め、6ヶ月間の共同生活)
バイオスフェアの生活体験
森林鉄道
個人の将来生活シミュレーション実施
開催前からやってみよう
エコ見本市
ビオトープのコンクール

